

令和6年度 新潟県看護協会新潟東支部 通常集会及び講演会を対面形式で開催しました

○日時

令和6年6月12日(水)

○テーマ

地震災害時における自衛隊の活動
～知る・考える・備える～

○講師

- ・陸上自衛隊新発田駐屯地広報室長
金山栄一 2等陸尉
ほか救急救命士 1名

○内容

- ・自衛隊の責務とは何か
- ・災害時の活動内容
- ・自衛隊の救急救命士としての役割、観察と治療介入の原則について



このたびの講演会は、自然災害が多い昨今において、非常に関心が高いテーマで、70名の参加がありました。

能登半島地震や東日本大震災での活動の実際を、写真や動画を組み合わせ、具体的にお伝えいただきました。24時間365日、災害現場に速やかに現場に到着できよう、日々苦しい訓練を続けています。誰も命を落とさないよう、常に隊員間の連携を意識し、「団結」「規律」「指揮」を考えて行動していること、派遣後は隊員のメンタルケアを行い、体調面のサポートも行っていることなどをわかりやすくお伝えいただきました。

アンケートでは、日頃知ることができない自衛隊の組織について現場で活動する自衛官の講演を聞くことができ、有意義だったという回答が多く、災害の備えについての意識を高める機会になりました。

新潟東支部では、これからも会員の皆様のニーズに応じた講演会や研修会を企画していきたいと考えております。

テーマのご希望などございましたら、ぜひお聞かせください。